

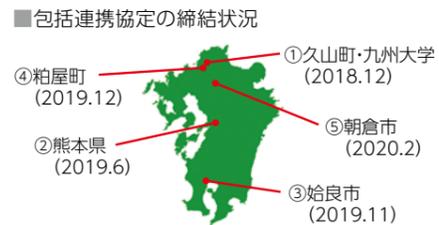
## 地域・社会の課題解決

SDGsの実現に向け、産学官の連携や九電グループ一体での提案により、地域・社会の課題解決に取り組みます。

### 産学官連携による地域活性化モデルの確立

九州の自治体や学術研究機関と、地域課題の解決やまちづくりに関する包括連携協定を締結しています。

この協定に基づく取組みを通じ、九州地域の社会的課題の解決、持続可能な発展に貢献していきます。



### 九電グループ一体となった地域・社会の課題解決

九電グループの取扱い商品の中でも地域・社会の関心が高い4つのカテゴリについて、「ウィズキュー」として関連商品を取り揃え、地域・社会の課題解決とグループ全体の収益拡大を図っていきます。



雨水や海水でスマホを充電  
[Watt Satt (ワットサット)]  
[九電産業(株)]



夏場ピーク時の屋根からの熱量を約9割カット  
[遮熱シート (トップヒートバリアー)]  
[九電テクノシステムズ(株)]



サイバー攻撃からデータを守る  
[QT PROマネージドセキュリティサービス]  
[株QTnet]



最適な「明かり」をご提案  
[照明器具のLED化]  
[誠新産業(株)]



## ICTサービス

様々なICTサービスを展開し、お客さまに最適なソリューションを提供します。

### 主なICTサービス

- 光ブロードバンド事業「BBIQ」、モバイルサービス事業「QTモバイル」
- お客さまの情報資産を安心・安全にお預かりするデータセンター事業
- スマートフォンやタブレットに計測情報を自動配信する農業向けITセンサー「MIHARAS」等



株QTnet  
「QTモバイル」 「BBIQ」



株QTnet  
データセンター(イメージ)



ニシム電子工業(株)  
ITセンサー「MIHARAS」

## 戦略II 持続可能なコミュニティの共創



## 都市開発・まちづくり

都市開発や不動産事業を通じて九州の発展に貢献していくとともに、新たな収益の獲得に取り組みます。

### 都市開発事業

福岡市青果市場跡地再開発をはじめ、九州を中心に都市開発事業に積極的に取り組みます。



福岡市青果市場跡地再開発イメージ  
(2022年春開業予定)  
(福岡市ホームページより)

### 不動産事業

「みらいにつながる、快適な環境にやさしい、安心な空間」を提供するため、九電グループ一体となって、不動産事業の強化に取り組んでいます。



福岡市のオール電化賃貸マンション  
(2020年7月竣工)

## インフラサービス

九州地域の発展・活性化に貢献していくため、空港運営事業等の社会インフラ事業への取組みを強化します。

### 空港運営事業

福岡、熊本空港の運営事業を着実に推進するとともに、その他の空港への取組み拡大、空港以外の社会インフラ分野への展開も検討していきます。

- 当社が他企業と共同で運営権を取得した空港
- 福岡空港(2019年4月空港運営事業開始)
  - 熊本空港(2020年4月空港運営事業開始)



熊本空港の将来イメージ

### TOPICS

#### 都市開発・まちづくり、インフラサービス各事業の機能を統合し、「都市開発事業本部」を設置

九州電力(株)では、都市開発・まちづくり、インフラサービスの各事業について、これまで個々の組織で専門性を活かして取り組んできましたが、今後、事業間の連携を強化するとともに、社会動向に迅速かつ確に対応しながら経営資源を戦略的に投資することで、事業の飛躍的な成長を目指していくため、これらの機能を統合し、2020年7月に「都市開発事業本部」を設置しました。

## 新たな市場の創出

九電グループの強みを活かし、地域・社会のニーズを捉えた新たな事業・サービスを創出します。

### 電力インフラツーリズム

ダム、発電所、送配電設備等の電力インフラを活用したインフラツーリズムを推進し、交流人口拡大による九州の活性化及びPRに貢献していきます。



宮崎県上椎葉ダム点検通路歩行体験

### ドローンサービス

ドローンを活用した空撮や撮影したデータの加工サービス(オリジナル動画や三次元画像等の作成)を提供しています。

2020年4月から360度パノラマVRサービスを追加しました。



KYUDEN DRONE SERVICE  
九電ドローンサービス

# イノベーションの推進

戦略Ⅰ エネルギーサービス事業の進化 と 戦略Ⅱ 持続可能なコミュニティの共創 を加速し、2つの戦略のシナジーを最大化していくための取組みを推進していきます。

## グループ横断イノベーション



九電グループのイノベーションを推進する取組みとして、グループ横断のアイデア創出や、有望案件の事業化・サービス化に向けた検討を行っています。

2019年度には、ビジネスアイデア創出企画「i-Challenge 3」を開催しました。九電グループ全体から、イノベーションに熱意・関心のある「人」や「チーム」を公募し、ワークショップや社外有識者のメンタリング等による「育てるフェーズ」と、プレゼンテーションによる「選抜のフェーズ」を組み合わせ、有望なアイデアの創出に取り組みました。



i-Challenge 3の様子



## 他企業との共創(オープンイノベーション)

九電グループの有するリソースだけではなく、社外と連携することによって技術やノウハウ、アイデアを共有し、新しいビジネスやサービスを共創していきます。

### 世界最大級の次世代植物工場の検討

(株)九電工、東京センチュリー(株)、(株)スプレッドの3社と、豊前発電所遊休地を活用した次世代植物工場の事業化検討を行っています。

レタスの生産能力日産5トンと世界最大級で、野菜の安定供給に貢献する社会的意義が非常に大きな事業です。

さらに、VPP(\*)リソースとしての活用や再生可能エネルギーと組み合わせた低環境負荷のレタス提供等、新たな付加価値創出の可能性も検討します。

(\*) Virtual Power Plant  
仮想発電所。電力の需給バランスを保つため、電力を使用する側の機器を制御し、発電所のように活用すること



次世代植物工場の完成イメージ

## KYUDEN i-PROJECTから生まれた案件

### 事業化案件(準備中含む)



ベトナムに設立した現地法人 [Kyuden Innovatech Vietnam]による水力発電運用改善事業



優秀な外国人材の就業と、定住による地域活性化を目指す [KYUDEN GLOBAL 事業]



マンション入居者専用の電気自動車シェアリングサービス [weev(ウィーブ)]



「教えたい人」と「習いたい人」をつなげる習い事マッチングプラットフォーム「おけいこタウン」



位置情報を活用した見守りサービス [Qottaby(キューオッタバイ)]



ドローンを活用した動画空撮、映像編集、三次元画像等の作成サービス [九電ドローンサービス]



女性消防設備士チームにより、マンション・アパート等の消防設備点検サービスを提供する事業 [TEQNICO]

### 実証実験中の案件



離れていても、感じられる。センサーを活用したアクティブシニア自立支援・健康寿命延伸サポートサービス [こねQと]



電柱を活用した防災情報伝達サービス

この他にも、多数の案件について実証実験に取り組んでいます。

### マンション入居者専用の電気自動車シェアリングサービス

電気自動車を活用したマンション入居者専用カーシェアリングサービス「weev(ウィーブ)」を2020年12月から九州及び首都圏で開始します。

マンション入居者の「安心」・「便利」・「リーズナブル」なカーライフの実現を目指します。



# 1 安全・健康・ダイバーシティを重視した組織風土をつくります

## 安全と健康の最優先

全ての事業活動の基本として安全と健康を最優先し、すべての従業員が心身ともに健康で生き生きと働ける会社を作ります。

### 徹底した安全の取組み

九電グループが目指す安全とその基本方針を示した「九電グループ安全行動憲章」等を意識と行動のベースとして、「経営の基盤である安全」に関わる取組みを推進しています。

「九州電力安全推進委員会」と、グループ会社の安全担当役員等が参画する「グループ安全推進部会」が情報共有・連携し、グループ一体となった安全の取組みを推進しています。



グループ各社の安全実務責任者が参加する安全ワークショップの様子

**九電グループ安全行動憲章**

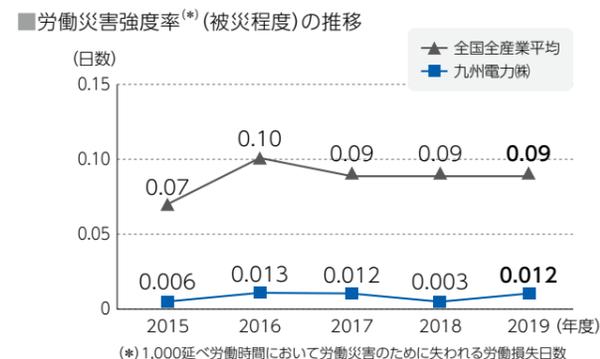
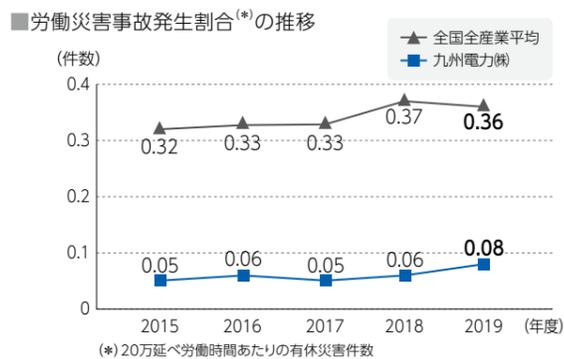
九電グループは、事業に関わるすべての人たちの安全を守り、その先にある安心と信頼につなげることを目指します。このため、労働安全、設備保安の観点から、経営の基盤である安全を最優先する企業活動に向け、次の5つの行動を徹底します。

1 安全の創造と進化	2 声の反映と情報発信
3 風通しの良い環境づくり	4 自己研鑽
5 DNAの伝承	

### 「災害ゼロ」の達成に向けた取組み

リスクアセスメント等災害の未然防止対策の推進、災害発生後に根本原因を深掘りした再発防止対策の検討及び実施等、現場作業における安全作業の徹底により、労働災害の発生割合及び強度率(被災程度)は全国全産業平均を大きく下回っています。

また、コンプライアンスの観点から労働安全衛生法令に関する教育や、危険感受性を高めるために危険体感研修等の安全教育も実施しています。



### 委託・請負会社と一体となった安全活動の推進

共に働く仲間の安全を確保するため、委託・請負会社への安全活動の支援を行っています。

委託・請負会社との安全懇談会等における情報共有や、安全パトロール等による現場の安全管理状況の確認等を通じて、設備や作業手順等の安全性向上に取り組んでいます。



## 戦略III 経営基盤の強化

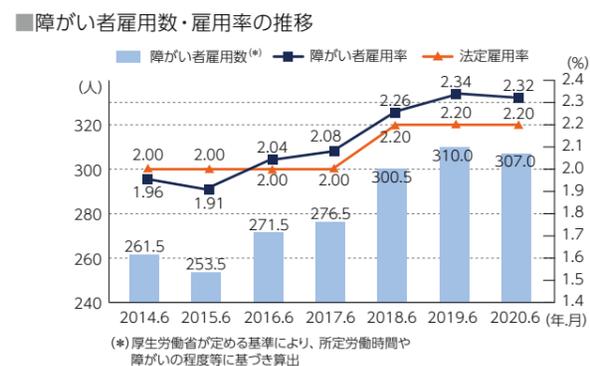
### ダイバーシティの推進

変革の推進や新たな事業展開を担う多様な人材を確保・育成するとともに、多様な人材が活躍できる勤務環境を整備します。

一人ひとりが能力を最大限に発揮できる環境づくりに向けて、「意識・組織風土改革」、「人材育成」、「働きやすさと働きがいの追求」を柱とした取組みを展開しています。

女性の仕事を通じた成長を支援するとともに、意欲・能力のある女性を積極的に管理職に登用します。

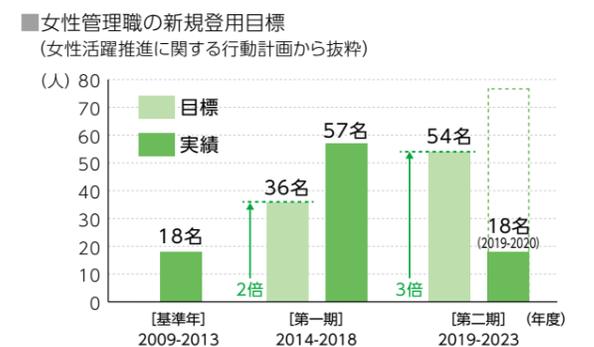
障がいのある方も、地域・社会の中で活躍することができる社会づくりにグループ一体となって貢献するため、障がい者の雇用促進に努めています。



**女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定**

女性活躍推進に関する取組みの実施状況等が優良な企業として、2016年7月に当社、2018年2月にグループ会社の九電産業(株)が、厚生労働大臣の認定を受けました。

「えるぼし」認定マーク ▶



# 2 働きがいのある職場を永続的に追求します

## 働きがいのある職場づくり

働き方改革の推進により、従業員が能力を最大限発揮し、働きがいを感じることができる組織風土や職場をつくっていきます。

従業員が活力を持って仕事に取り組める環境づくりや、抜本的な業務効率化による労働生産性の向上、チャレンジできる組織風土への変革を目的として、働き方改革に九電グループをあげて取り組んでいます。

### 一人あたりの総実労働時間と年次有給休暇取得日数



**働き方改革の具体的取組み内容**

**I 意識改革**

- 各職場の働き方改革推進担当者との連携を通じた、各種取組みの推進
- 好事例の共有等による、会社全体で「働き方改革」に取り組む意識の醸成

**II 業務効率化**

- 社員からの業務効率化に関する提言の募集、提言に基づく改革の実践
- 仕事の進め方に関する「全社共通ルール」の浸透による業務の効率性・品質の向上
- 会議のスリム化を目指すスマート会議運動の実施

**III 柔軟な働き方に資する制度の充実**

- テレワークの適用職場拡大
- フレックス、時差出勤制度の適用職場拡大 等

[全社共通ルール]

## 戦略Ⅲ 経営基盤の強化

### ICTによる業務改革

デジタルトランスフォーメーション(\*)を推進し、生産性・収益性の向上及びお客さまサービス向上につながる業務改革を推進します。

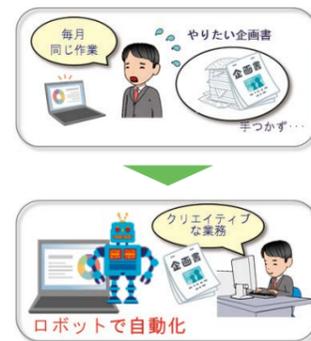
(\*)ICTを活用して、効果的に価値創造と提供ができるようにビジネスを戦略的・構造的に変革すること

経済性を考慮しつつ、ICTをタイムリーに利活用していくことにより、一層の経営効率化や、お客さまサービスの向上等につながる業務改革を実現していきます。

#### ■リモートワーク等多様な働き方の実現のイメージ



#### ■ソフトウェアロボットによる生産性向上のイメージ



#### ■設備保全の効率化・高度化のイメージ



## 3 ステークホルダーからの信頼向上に継続的に取り組みます

### ステークホルダーの期待に応えるCSRの取り組み

地域・社会とともに持続的に発展することを目指し、地域課題の解決や環境活動等、ステークホルダーの期待が高い「CSR重要課題」の解決に向けた取り組みを強化します。

SDGs等から幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの期待が特に高い14項目を九電グループが優先して取り組む「CSR重要課題」として特定しており、持続可能な社会の実現につなげるため、グループの経営資源を結集して重要課題の解決に取り組んでいます。

▶ P49

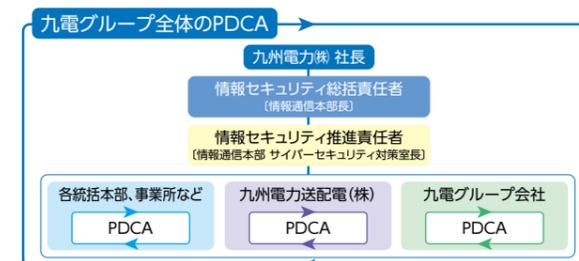
### 情報セキュリティ確保の取り組み

サイバー攻撃に適切に対処し、事業活動を継続するため、九電グループ全体の情報セキュリティ対策を強化します。

サイバー攻撃による情報漏えい等のセキュリティリスクに対応し、エネルギーサービスの提供をはじめとする事業活動を継続するため、サイバーセキュリティ対策室を中核として、九電グループ全体の情報セキュリティレベルの維持・向上を図っています。

九州電力(株)の社長を最高責任者とする体制のもとグループ全体のPDCAを推進することで、組織的・人的・物理的・技術的対策を強化しています。

#### ■九電グループの情報セキュリティ推進体制



## 戦略Ⅲ 経営基盤の強化

### コンプライアンス経営の推進

社会からの信頼の基盤となるコンプライアンス経営を徹底するため、従業員の意識向上や法令違反等の防止に取り組めます。

#### コンプライアンス経営の推進体制

社長を委員長とし、社外有識者を含む委員で構成する「コンプライアンス委員会」において、コンプライアンス推進の取り組みの評価・改善提言を行っています。

社内及び社外に「コンプライアンス相談窓口」(内部通報窓口)を設置し、法令違反や社会からの信頼を損なう行為等の未然防止及び早期発見に努めています。

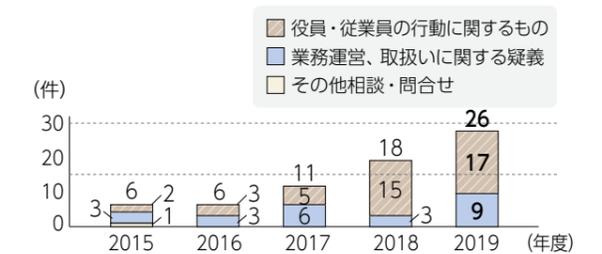
#### ■コンプライアンス委員会での主な審議・報告事項(2019年度)

- コンプライアンス推進における課題と今後の取り組み
- コンプライアンス相談窓口の運用状況
- グループ会社従業員に対するコンプライアンス意識調査結果
- 関西電力金品受取問題に関する取り組み



コンプライアンス委員会

#### ■コンプライアンス相談窓口への相談・通報件数の推移



### 経営効率化への取り組み

財務体質改善に向け、経営効率化に取り組めます。

#### 資機材調達コスト低減の取り組み

調達コスト低減の更なる深掘りに向け、社外専門家を含む委員で構成する「調達改革推進委員会」からの意見・助言等外部知見も活用しながら、調達機能の強化に取り組むとともに、発注方法の工夫等の原価低減活動に取り組んでいます。

#### ■九電グループ全体の調達コスト低減の取り組み

